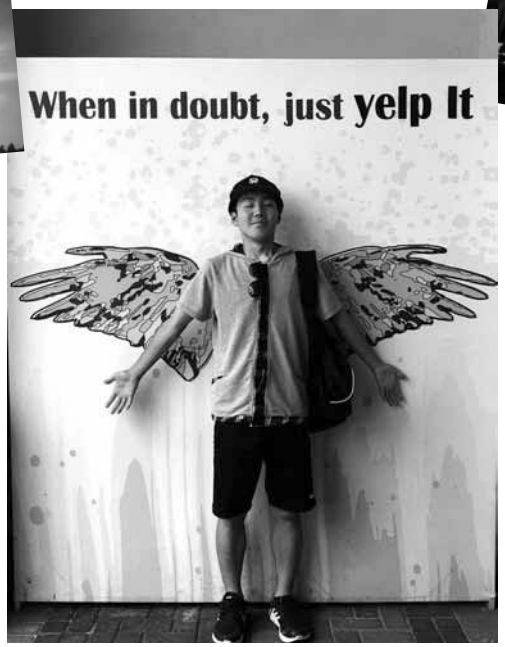
ANAHEIM 2019



はじめに

公益財団法人水戸市国際交流協会
理 事 長　阿 部　真 也

水戸市の代表として、令和元年度の水戸市学生親善大使がアメリカの文化と歴史を学び、相互理解と友好親善の目的を果たして、無事帰水いたしました。三村将司先生を団長とし、7 月 26 日から 8 月 6 日までの日程でアナハイム市にホームステイしました。

歴史、文化、言葉の壁を超えて得たアナハイムでの友情、体験、思い出は、これからの人生を豊かなものにすることでしょう。互いに認め合うことができる国際人として羽ばたくためのステップになると、確信しております。

学生親善大使経験者の皆さんには、今回の派遣で終わることなく、体験を基にして水戸市の国際交流・異文化理解の促進に寄与することを期待いたします。

最後に、このプログラムに携わった関係者並びに学生親善大使を受け入れて下さいましたアナハイム市姉妹都市委員会の皆様に、心から感謝申し上げます。

I am very happy to report that all Mito Student Ambassadors in 2019, headed by Mr. Mimura, returned to Mito safely. They stayed with families of Anaheim from July 26 to August 6. They studied American culture and history and deepened their understanding and friendship between both cities.

The friendships and experiences will enrich their lives by helping them overcome the differences in history, culture and language. I am convinced that knowing each other will play an important role in becoming more internationally oriented individuals.

I hope that this experience will motivate the student ambassadors to contribute to promoting international exchange and cross-cultural understanding in Mito.

In closing, I would like to express my gratitude to all of the people concerned in this program, both living in the City of Anaheim and the City of Mito. Also many thanks to the members of the Anaheim Sister City Commission for hosting our students. Thank you very much.

Shinya Abe, President
Mito City International Association

目次 -CONTENTS-

1. 令和元年度学生親善大使派遣事業概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i
Mito Student Ambassadors 2019 Summary

2. 令和元年度学生親善大使名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ii
List of student ambassadors

3. 全体スケジュール / 日誌 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
Schedule/Diary

4. ホストファミリー紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
Introduction of host families

5. 報告書 ・・・19
Ambassador reports

6. アナハイム市姉妹都市協会へ感謝の言葉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
Words of appreciation for Anaheim

7. おまけページ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
Bonus contents

8. 参考資料 ・・32
Background information

令和元年度　水戸市学生親善大使派遣事業

1　目的

水戸市内の学生を水戸市と国際親善姉妹都市であるアナハイム市へ派遣し、海外でのホームステイを通して国際的な視野に立つ人材を育成するとともに、両市の相互理解と友好親善を深めます。

2　主催

公益財団法人水戸市国際交流協会、水戸市、水戸市教育委員会

3　概要

（1）　派遣期間　令和元年7月26日（金）～8月6日（火）（12日間）

（2）　派遣先　アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アナハイム市
アナハイム市姉妹都市委員会承認の市民ボランティア宅にて
ホームステイ

（3）　派遣人数　学生親善大使8名（他に親善大使を引率する団長、国際交流協会職員が同行）

（4）　内容

ア　アメリカ合衆国及びアナハイム市の歴史や文化等の研修

イ　英語研修

ウ　関係機関、施設等の訪問・見学

エ　水戸市の紹介

オ　ホームステイを通しての市民間交流

4　スケジュール

派遣前後の研修ならびに派遣期間

7月　7日（日） 7月14日（日）　13:30-17:00 7月21日（日）	事前研修
7月26日（金）～8月6日（火）	アナハイム市へ派遣（ホームステイ）
8月25日（日）　13:30-17:00	事後研修

令和元年度　水戸市学生親善大使　名簿

氏名		性別	学校	学年	ホストファミリー
薄井　眞帆	Maho USUI	女	水戸英宏中学校	2	Taline COLE
打越　愛玲	Aire UCHIKOSHI	女	水戸第二高等学校	2	Darlene TORRES David TORRES
鯉沼　穣也	Joya KOINUMA	男	水城高等学校	1	Michael LE Tara Thach LE
野上　千穂	Chiho NOGAMI	女	水戸第三中学校	2	Thu VU Sonny NG
野中　翠	Sui NONAKA	女	茨城高等学校	2	Kevyn RICOSSA Joseph RICOSSA
花見　優太	Yuta HANAMI	男	水城高等学校	2	Michelle HONG
松浦　由芽	Yume MATSUURA	女	茨城高等学校	2	Chieu TRINH Nguyet NGUYEN
山崎　啓介	Keisuke YAMAZAKI	男	智学館中等教育学校	3	Tayde ALFARO Felipe ALFARO

（団長）

三村　将司	Masashi MIMURA	男	水戸市立見川中学校教諭	Scott LUTZ Sara LUTZ

（事務局）

照山　生教	Miyuki TERUYAMA	女	（公財）水戸市国際交流協会	Jennifer SASAI

Schedule

7/26	7/27	7/28	7/29
金曜日 Friday	土曜日 Saturday	日曜日 Sunday	月曜日 Monday
 水戸市出発 Leave Mito →アナハイム市到着 →Arrive in Anaheim	ホストファミリーと過ごす 野球観戦 Host family day Watch baseball game 	 ホストファミリーと過ごす Host family day	消防署見学 水戸橋見学 ビーチパーティー Visit fire station Visit Mito Bridge Beach Party
7/30	7/31	8/1	8/2
火曜日 Tuesday	水曜日 Wednesday	木曜日 Thursday	金曜日 Friday
市議会議場見学 市長表敬訪問 市内散策 Visit the Council Chambers Meet with the Mayor Go around in city	プールパーティー Pool Party 	ディズニーランド カリフォルニア アドベンチャー Disney Land California Adventure 	ダウンタウンディズニーで 買い物 さよならパーティー Shopping at Downtown Disney Sayonara Party
8/3	8/4	8/5	8/6
土曜日 Saturday	日曜日 Sunday	月曜日 Monday	火曜日 Tuesday
 ホストファミリーと過ごす Host family day	ホストファミリーと過ごす Host family day 	アナハイム市出発 Leave Anaheim 	水戸市到着・解散 Back to Mito

第1日目　7月26日（金）

（1 日の行動）

13：30　水戸市国際交流センター集合
14：00　出発式
14：30　水戸市国際交流センター発
19：00　成田空港発
～日付変更線～
13：10　ロサンゼルス国際空港到着
　　バスで昼食、アナハイムへ移動
17：30　ダウンタウンコミュニティーセンター（DTCC）着
　　歓迎会後、ホストファミリーと共に解散

（1 日の様子）

水戸市国際交流センターに集合し、出発式が行われました。水戸市長をはじめ、多くの方々がいらしたのを確認し、ついに我々はアナハイムへ行くのだという実感が湧き上がりました。水戸市の学生を代表して行くので、とても緊張しましたが、水戸市長の「何よりも自分のために」というお言葉に救われました。団員紹介で、自分の番が回ってくるときはドキドキしましたが、リラックスして返事ができたと思います。多くの方々に「いってらっしゃい」と声をかけていただき、私たちへの期待を感じました。

式を終え、大きなリュックを背負って大型バスに乗り込んだ時は、少しワクワクしました。10 人でこの大量の座席を使うことができるのかと。

成田空港に着いて、空港内へ入ったときは、バスとは違った広さを感じました。成田空港の空間いっぱいに期待と不安を感じていました。

飛行機に乗り込み、自分の座席を探します。徐々に席のグレードが下がっていくことが少し悲しかったけど、サービスは充実していて楽しめました。

日付変更線を越えて時間をさかのぼり、ロサンゼルス空港に着きました。JTB のガイドの林さんから紳士のしきたりを学び、男子が荷物を運んでバスへ向かいます。外に出たとき、日差しがとても強かったです。

乗ったバスの席はまるで社長席のようでとても立派でした。車内ではレディーファーストということで、女子から順番に美味しいサンドウィッチをもらいましたが、大きくて食べきれませんでした。

DTCC に着き、歓迎会で各々のホストファミリーと初対面しました。想定していたよりずっといい人たちで、積極的に話しかけてくれました。

【Yuta】

第2日目　7月27日（土）

（1 日の行動）

午前　　ホストファミリーと過ごす

15：30　Tailgate Party

16：30　球場の中へ移動

18：07　試合開始（オリオールズ戦）

　　試合終了後、土曜日限定の花火を鑑賞

22：30　解散

（1 日の様子）

アナハイムに来て、早速ホストファミリーと過ごせる時間があり、とても嬉しかったです。朝ごはんは、ホストブラザーの Bryan が作ってくれたパンケーキとフルーツの盛り合わせを食べました。

その後は Bryan と隣町の Buena park の公園に行きました。僕たちはそこでテニスとバスケットボールをしました。テニスは、先にコートにいたベトナム人とフィリピン人の方たちと、一緒にやらせていただきました。とても気さくな人たちで、初対面でもとても楽しくプレーができました。また、バスケットボールは、Bryan にいろいろなシュートを教えてもらいながらプレーをしました。Bryan は、去年まで高校のバスケットボール部のレギュラーとして活躍していて、引退後とは思えないほど上手でした。

午後は、ホストファザーのフェンスづくりの職場を、見学しに行きました。ホストマザーと Bryan が、ホストファザーに飲み物を届けに行ったらしく、とても仲がいいのだなと感じました。その後は 3 時半まで、Bryan と Angels Stadium の駐車場で、催されていたお祭りに行きました。「Japan Day」というお祭りで、柔道や剣道、地域の伝統舞踊のショーが行われていました。その後、駐車場で各ホストファミリーと Tailgate Party を行いました。姉妹都市委員会の Jim さんが、ホットドックを焼いてくれていて、それをみんなで食べました。そして、いよいよ試合開始です。この試合では、大谷選手がホームランを打ち、みんなその時はとても興奮していました。試合は両者譲らない展開で、エンゼルスが土壇場で逆転しそうになるも、競り負けてしまいました。その後の花火はとてもきれいでした。

【Keisuke】

第3日目　7月28日（日）

（1 日の行動）

終日　ホストファミリーと過ごす

（1 日の様子）

前日はエンゼルスの試合が夜遅くまで行われていて、16 時間の時差もあったので普段よりも少し遅く起きてしまいました。午前中はホストブラザーの水泳やバイオリンのレッスンを見に行きました。プールでは一般の人も利用することができると聞いたので、次にアナハイムに来た時にはぜひ利用したいと思いました。

午後からは Fashion Island というショッピングモールに連れて行ってもらいました。キャンディーショップに行ったり、洋服を見たりしていると、あっという間にお昼の時間になってしまいました。お昼を食べに行ったレストランでは、サラダとピザのセットを注文しました。ホストマザーが、「それはあまり大きくないからきっと食べられるわよ。」といってくれましたが、出てきたピザとサラダは私の予想を裏切る大きさでアメリカンサイズを実感した瞬間でした。また、そのレストランではもう一つ驚いたことがあります。それはコーヒーや紅茶用の砂糖が全部で 5 種類もあったことです。普通の砂糖だけではなく、人工甘味料やカロリーオフのものまで何でも揃っていると教えてもらいました。

そして、ショッピングの後はビーチへ行きました。海へと続く坂に建っている家はどれも高級そうで、日本では考えられないような大きさだなぁと思いました。海辺は夕方なのにとても混んでいて、車を止められなかったので海岸の近くの道路を車に乗ってドライブをしました。海から吹く風がとても気持ちよかったです。

終日、ホストファミリーと過ごしたのはこの日が初めてでしたが、アメリカの文化を肌で感じたような、そんな一日でした。

【Maho】

第4日目　7月29日(月)

（1 日の行動）

9：00　DTCC 集合
10：00　消防署見学
11：30　昼食(In-N-Out-Burger)
13：00　DTCC にて研修
14：30　水戸橋見学、ビーチパーティー
21：30　DTCC 解散

（1 日の様子）

この日は消防署、In-N-Out-Burger、水戸橋、ビーチパーティーに行きました。消防署見学では、消防士の方々が普段使っている器具を、実際に見せてくれながら、丁寧に説明してくださいました。私たちも、消防服を着て放水体験をすることができました。思っていたよりも服は重く、ホースは太く水圧が強くて、驚きました。改めて消防士の仕事の大変さに気づきました。

次に昼食を食べに In-N-Out-Burger に行き、それぞれ好きなものを注文しました。パテとチーズが 2 倍の double-double バーガーは、とても大きくて驚きました。水戸橋では、現地の人からお話を聞くことができてよかったです。そのあとビーチへ向かいました。着くとみんなで jumping picture を撮りました。アナハイムの友達も来てくれて、お城を作ったり写真を撮ったりして遊びました。夕方になると風が強くなってきましたが、夕日がとてもきれいでした。そしてスモア(マシュマロを炙りチョコレートとクッキーで挟んだもの)を食べました。マシュマロの熱でチョコレートが良い具合に溶けていて最高においしかったです。充実した一日になりました。

【Aire】

第5日目　7月30日(火)

（1 日の行動）

8：30　DTCC 集合
10：00　市役所見学
11：00　市長表敬訪問
12：00　市議会議場見学
12：30　昼食（Packing House）
14：30　アナハイム市内散策
17：00　DTCC 解散

（1 日の様子）

DTCC に集合し、午前中は市役所・市議会議場見学、そして市長表敬訪問をしました。市役所に入ると、入り口近くに水戸市からアナハイム市へ贈られたたくさんのプレゼントが飾られていました。それらを一つ一つ見て、記念撮影をしました。市長表敬訪問では、市長が優しい笑顔で握手をしてくれ、私たちが事前に用意した質問に真剣に答えてくれました。その後私たちは、将来の夢について話をし、市長からアドバイスを頂きました。また、多くのお土産も頂き感謝しています。次に、市議会議場を見学しました。議場では、実際に議員の座る席に座らせてもらいました。

昼食は、Packing House で各々が好きな物を買って食べました。私は Sweetbird というお店で大きなハンバーガーを注文し、とても美味しく食べました。

午後は、市内を散策しました。私たちは『永遠の友情を誓って 水戸市』と刻まれた壁面や、水戸市との交流 40 周年を記念して命名された『Mito Way』の前で、写真撮影をしました。それらを見て私は、両市の絆の深さを改めて実感し、この訪問をより実のあるものにしたいと思いました。また、公共図書館を訪れた際には、墓石に書かれた日本語の翻訳を頼まれ、みんなで訳しました。その結果、記録不明のアナハイム市に住んでいた日本人 2 人を特定する事ができ、市の歴史に刻まれることになりました。後日、アナハイム姉妹都市委員会のインスタグラムに、感謝の言葉が載せられていたので誇らしかったです。

今日は親善大使だからこそ経験できたことばかりで、アナハイム市と水戸市の交流をさらに深め、より良いものにするために頑張りたいと思いました。

【Yume】

第6日目 7月31日(水)

（1 日の行動）

9：00　DTCC 集合
9：30　Downtown Japanese Bakery にて朝食
11：30　Music Jam With Justin（DTCC にて）
12：00　Pool party（Anthony 宅）
17：00　DTCC 解散

（1 日の様子）

朝から Japanese Bakery に行って、自分たちの好きなパンとドリンクを頼みました。岡山にお店があり、北海道産の小麦粉を使った、とても体に優しくおいしいパンでした。店長の Rocky さんは、親が日本人でハワイ育ちの方で、岡山にあるパン屋さんの第 2 号店として、このお店をオープンしたそうです。店内はとても賑わっていて、内装がとてもおしゃれで、素敵な空間でした。日本らしい木の温かみと、アメリカンスタイルの融合をこの目で感じることができました。

その後、DTCC に戻って、Justin（姉妹都市委員会の Jackie さんの友人）のパフォーマンスを聴きました。全員がギターの体験をさせてもらえて、Justin に教えてもらいながら、ギターという楽器を演奏することの楽しさを学び、異なった素材の 2 つのギターの音色は、それぞれに違った良さがあることを知りました。パフォーマンスの後に、私たちにも分かるような曲も演奏してくれました。最初は静かに聞いていた私たちも、聞いているうちに楽しくなって、ノリノリになりながら演奏を楽しみました。

お昼になると、私は Jackie のオープンカーに乗って、Anthony のお家へ向かいました。豪邸に着くと Anthony の奥さんが日本食を作ってくれていて、久しぶりに日本食を食べることができました。食事をした後、さっそく 2 人でプールへ飛び込んだら、自分たちの身長以上に深くてとてもびっくりしました。

プールを楽しんだ後、Jessica（英語教師）とナミさん（滞在中、ボランティアで付き添ってくれるアメリカ在住日本人）もみんなでカラオケをしました。

【Sui】

第7日目　8月1日(木)

（1 日の行動）

9：30　DTCC 集合
　　Disney Land / California Adventure
21：30　「World of Color」鑑賞
　　(カリフォルニアアドベンチャーで上演される光と水と音のショー)
23：00　DTCC 解散

（1 日の様子）

この日は、待ちに待った Disney Land へ！初めに、California Adventure へ行きました。東京ディズニーランドにはないアトラクションばかりで、みんなとても喜んでいました。

まず Cars Land の中の「Radiator Springs Racers」に乗りました。並んでいる間は怖くて乗りたくなかったけれど、いざ乗ってみるととても爽快感があって楽しかったです。

いろいろなアトラクションが、東京ディズニーランドと比べて待ち時間が短いので、たくさんのアトラクションに乗ることができました。

Disney Land では、新しくできた「Star Wars：Galaxy's Edge」に行きました。まるでスターウォーズの世界にいるかのようで、とても素敵でした。

また、ミッキー型のアイスやとても大きい綿あめ、ポップコーンを食べました。いろいろな種類の食べ歩きフードが売っていて、どれもおいしかったです。

夜は、California Adventure で行われる夜のショー、「World of Color」を見ました。場所を予約されていたので、広々とした場所で、ゆったりと見ることができました。ショーはとても綺麗で幻想的でした。音楽や光がめまぐるしく変わって、迫力も満点でした。花火とはまた違った良さがあり、みんなとても楽しんでいました。

朝から夜まで楽しいことでいっぱいな最高の一日でした。

【Chiho】

第8日目　8月2日（金）

（1 日の行動）

9：30　DTCC 集合
10：00　Downtown Disney で買い物
12：30　ピザランチ(DTCC にて)
16：00　かき氷パーティー
19：00　さよならパーティー

（1 日の様子）

前日は帰りが遅かったので、少し遅めに DTCC に集合しました。その後、Downtown Disney へ向かいました。前日行った Disney Land 内で、お土産を持って回るとなると、とても大変だったと思うので、翌日に Downtown Disney に行くことができたのは、嬉しかったです。中に入ると、Disney Land と California Adventure の世界観を保ったショッピングモールのようで、とても素敵でした。まるでこの日も Disney Land・California Adventure にいるようでした。複合施設になっていて、1 日中楽しめるくらい充実していました。かわいいお土産をたくさん買った後、DTCC に戻ってランチのピザを食べました。ある程度ピザを食べ終わった頃に、Jackie が苺の誕生日ケーキを持ってきてくれました。私はこの日が誕生日だったので、とても嬉しかったです。ケーキを食べた後、さよならパーティーで披露するためのパフォーマンスの練習をしていると Micky さんが（Jackie の知り合い）かき氷の移動販売車に乗って来てくれました。ホストファミリーも合流して、みんなで楽しく食べることができました。

さよならパーティーでは、派遣中の出来事をまとめたビデオを見たり、ピニャータ（メキシコで、お祝い事に使われるお菓子の入ったくす玉）を割ったりしました。ピニャータをするのは初めてだったのですが、思ったよりも割れなくて驚きました。写真を撮るから並んでと言われた時に、奥の方からたくさんのボックスが出てきて、大谷選手のフィギュアをみんなにくれました。それだけではなく、そのまた奥から、チョコレートの大きなバースデーケーキが出てきた時はとてもびっくりしました。まさか 2 回も祝ってもらえるとは思っていなかったのでとても嬉しかったです。みんなにバースデーソングを歌ってもらえて、自分のホストファミリーに感謝の気持ちを伝えることができて、とても幸せな 1 日でした。

【Sui】

第9日目　8月3日（土）

（1 日の行動）
終日　ホストファミリーと過ごす

（1 日の様子）
この日は、大使の松浦さんと山崎君、そして私とそれぞれのホストファミリーで一緒に行動しました。

まず、日本食のスーパーマーケットに行きました。そこには、見慣れたお菓子や料理が、たくさん売っていました。特に、納豆がたくさん売っていたことに驚き、とても懐かしい気分になりました。また、近くの本屋さんに行きました。そこには日本の漫画がたくさん売っていました。山崎君のホストファミリーの Bryan は、「日本の漫画が好きで日本に興味を持ち、日本語を学んでいる。」と話してくれました。アナハイムの人にも好きと言ってもらえて、日本に興味を持つきっかけになる日本の漫画を、とても誇らしく思いました。

その後は、大きなショッピングモールや、無料で入れる美術館に行きました。

夕方は、海辺のショッピングモールに行きました。海辺は少し寒かったけれど、海がとても綺麗でした。私がアメリカで訪れた海は、全て綺麗で感動しました。ショッピングモールにはお土産屋さんや、洋服屋さんがあって、色々なお店を見ました。

夕食は、カリフォルニアで有名なフライドチキンのお店に連れて行ってもらいました。とてもおいしかったのですが、私には量が多すぎて、食べきることができませんでした。この日はたくさんの場所を訪れたため、疲れたのか家に着いたらすぐに眠ってしまいました。

最初のホストファミリーデーより、コミュニケーションが上手にとれるようになり、会話中に笑顔が増えてとても嬉しかったです。

【Chiho】

第10日目　8月4日（日）

（1 日の行動）

終日　ホストファミリーと過ごす

（1 日の様子）

この日はホストファミリーと過ごす最後の日でした。前日の夜、遅くまでプレゼント用の折鶴を折っていたせいで寝坊した私は、朝起きるとホストブラザーの Vincent にあと 10 分で家を出ると言われ、どこに行くかも言われず、急いで準備して車に乗りました。お父さんの運転で連れてこられたのは、Orange County Great Park という大きな公園でした。そこのとても大きいオレンジ色の気球に乗る予定だったそうですが、混んでいたので諦め、私たちは、隣接するデパートの駐車場で開かれていた露店に行きました。そこでは、マッシュルーム専門店や、聞いたこともないようなフレーバーの飲み物が売っている店があって、見ているだけでも面白かったです。そのあとショッピングモールで、ホストブラザーの 2 人とゲームセンターに行きました。1 時間くらい遊び、ショッピングモールを歩いていると、大使の野上さんとそのホストブラザーの Justin 兄弟に偶然会い、そのまま一緒に行動しました。途中でスムージーを飲んだあと、Vincent の友達と合流し、私がアナハイムに行く前から購入したいと言っていたスケートボードを買うために、みんなで VANS の店に行きました。お金が足りなくて困っていると、店員さんが値引きしてくれて、おまけに非売品のシールもたくさんくれました。とても親切で驚きました。早速、家に帰ってホストブラザーの 2 人とスケートボードをしてから、おばあちゃんの家に行きました。おばあちゃんを含めた家族みんなで、レストランでベトナム料理を食べに行くためです。食後、おばあちゃんの家でくつろいでいると、見たこともないフルーツが出てきました。あとで調べるとそれは「ランブータン」でした。今まで食べたフルーツのなかでもおいしくて、お土産にもらいました。帰りに McDonald でアイスクリームを買ってもらいました。注文すると、コーンに入ったアイスクリームが逆さまにカップに刺さっていて、日本とは全然違う形で出てきたので驚きました。帰宅後、ホストブラザーと一緒に、家のシアタールームで映画を観ました。でも私は、映画の途中で疲れて寝てしまいました。今思うと日本では、なかなかできない体験がいっぱい詰まった充実した 1 日でした。

【Joya】

第11、12日目　8月5日（月）、6日（火）

（1 日の行動）

8：30　DTCC 出発
　　サンタモニカ観光・昼食
13：00　ロサンゼルス国際空港着
15：30　ロサンゼルス国際空港発
～日付変更線～（8/6）
19：00　成田空港到着
22：00　水戸市国際交流センター着

（1 日の様子）

家族と写真を撮ったり、音楽を聴いたりと別れの感傷に浸っていたので、少し寝るのが遅くなりましたが、朝は目標の時間に出発できて、安心しました。

DTCC に着き、出発前にバスの前でお世話になった方々と話し、穣也君の作ったメッセージボードと一緒に写真を撮りました。ついにアナハイムの親切な方々とお別れです。胸が熱くなったけど、泣きませんでした。さよならパーティーと昨夜で、お別れの挨拶は十分にしたからです。ホストファミリーに笑顔で「Thank you so much!」と告げ、バスに乗りました。

空港へ行く途中、Santa Monica に寄りました。昼食のハンバーガーは、大きくて食べるのに苦労しました。美味しかったけどポテトを残しました。

ロサンゼルス空港でのチェックインの時に、穣也君が Disney Land で買ったライトセーバーが引っかかって、少し時間をロス（loss）しましたが、面白かったので無駄ではありませんでした。無事に終え、セキュリティーへ向かいます。そこで JTB の林さんとはお別れです。我らが師である林さんは、ずっと手を振ってくれていました。なんだかとても愛らしかったです。

日本へ向かう飛行機は、偏西風の影響でとても揺れ、私はひどく酔ってしまいました。そして、成田空港に着き、外に出ると、湿度の高さと暑さにビックリしました。もう保湿クリームを塗らなくてよいと思いました。バスに乗り込み、すでに時差ボケを感じつつも、車内でこの派遣を振り返って仲間と話せて楽しかったです。

水戸市国際交流センターに着き、バスを降りるとすぐに妹が近づいてきました。一瞬、誰だか分からず驚きました。久しぶりに家族を見ました。家に帰り、お土産を広げながら家族と話しをし、お風呂に入ってぐっすり寝ました。

【Yuta】

Our Host Families!

Thank you!!!!!

Dear My Host Family,

I'm glad, you're my host family. You took me to many places, and took many pictures for me. It was very difficult for me to understand your English, but it was easy to enjoy the amazing view because you took me there. And, when I couldn't understand English well, you taught me. You're a nice teacher for me. Thank you so much!

Yuta

Thanks!

My host family!!

Thank you for welcoming me into your home while you were busy preparing for a new baby. I had an amazing time! You all gave me the opportunity to learn about both American and Vietnamese cultures. I will forever cherish every memory and lesson. Let's keep in touch!!

Sincerely,

Joya

My great host family!!

The time spent with you is my best memory in this program!

You were so kind that I really enjoyed the time with you. Taco with chicken was the best food in this trip. Now, I want to learn Spanish. Then, I want to talk with you in Spanish soon! Please look forward to that time!

In the future, please come to Japan to meet me! I cannot wait that!

Thank you so much!!

Keisuke (English name: Casey)

Dear my host family,

Thank you for everything!!
You were very kind to me.
I was happy to be able to stay at your home.
I want to see you again someday.
If you come to Japan, I'll invite you to my house!
I love you!

Yume

Dear my host family,

Thank you for everything!
I'll never forget these memories I made with you.
You took me to a lot of places and these visits became my precious experiences.
I could learn many things. I miss Mexican food!
I'll come back to Anaheim and meet you again.
I love you!

Aire

Dear my host family,

**Thank you for your kindness!
I could spend an awesome time in Anaheim. All the people around you were very kind and you gave me many conversation opportunities, through which I could have a lot of fun! I love my host family!**

Maho

Dear my host family,

First, I want to thank you. If I had stayed at another host family's house, I couldn't have made such a great memory. You always helped me.

On the Host Family Day, you took me out to many fun places. Shopping malls, museums, and the beaches were all interesting and impressive to me. Thank you for taking me to those places even when you were busy.

Everything I ate in America was delicious. And everything you gave me is now my treasure. Also, I was happy when you praised Mito and Japan. I love all the people I met in Anaheim too, because they were really kind to us. Of course I love my host family.

I enjoyed these 12 days, all thanks to you. Thank you for hosting me. Thank you for talking with me. Thank you for giving me many great memories. I will never forget you. Don't forget me. Thank you very much. Please keep in touch.

Chiho

Dear my host family,

Thank you for everything you did for me. Every day was so much fun, just great 12 days. I want to see you again. Surely I will be back in Anaheim. Thank you so much.

I love you.

Sincerely,

Sui

Dear my host family,

Thank you for the greatest opportunity to stay with you all in Anaheim. I was so happy to meet you and spend time together. From this encounter a new wind blew in, opening a door to change my life. I made wonderful memories and experiences. I will never forget them. I love my host family, Scott, Sara, Nala and Riley.

MASASHI

Dear my host family,

Thank you for everything again. I was happy to hear that you were going to host me again. I made a lot of great memories with you all this time.

Otosan, thank you for driving every time. Every time I ride in your car, I always fell asleep, because you are the best driver. And you are the best cook. I love your Sashimi. Next time I will be looking forward to eating pancakes you make!

Okasan, thank you for taking care of me as your real daughter. You always listened to me and I always had a great time talking with you. We love talking, Haha! And thank you for the presents for my nieces and my doggy. I love them and also my nieces and doggy too.

Jennifer, my sister, you are the best. Every time I stayed with you, I always had a great time, and I am happy to spend time with you there. We went to many places together and we talked a lot, and even when you were busy with your work, you really took good care of me.

I miss you all and I love you all!

Miyuki

ANAHEIM REPORT

THANK YOU FOR EVERYTHING.

WE LOVE ANAHEIM!!

WE THINK ANAHEIM CITY IS THE MOST WONDERFUL CITY IN THE WORLD!

夢の実現 −Shape of my future-

薄井　眞帆
Maho USUI

まず、この度私たちの派遣に関わってくださった、全ての皆様に感謝申し上げます。アナハイムで過ごした 12 日間は、あっという間で、気づいたら帰国の日になっていました。毎日が楽しく、充実していて、時間が過ぎるのがとても早く感じました。

私は将来、小児科医としてグローバルな舞台で働きたいと、小さい頃から願ってきました。派遣への応募も、自分の夢の実現へ少しでも近づきたいと思い、申し込みました。合格したと聞いた時は、水戸市とアナハイム市の架け橋となることを、とても光栄に思うと同時に、自分の夢に近づけることに、嬉しく思いました。派遣にあたり目標を決めました。英語力の向上を目指すだけではなく、ボディーランゲージをより的確に使えるようにすることです。渡米する前は、どのようにそのスキルを学ぶか何も分からなかったため、とても不安に思いました。しかし、現地に着くと、地元の方がみんな笑顔で話しかけてくださったので、とても嬉しかったです。また、私がこの目標をホストマザーに伝えると、その実現に向けて、ホストマザーは私に協力してくれました。近所の方やスーパーの店員さん、ディズニーランドで私たちの前後に並んでいた人にまで、私のことを「姉妹都市から来た学生だよ。」と紹介してくれました。そのおかげで、だんだんといろいろな人と打ち解けることができ、気づいたら身振り手振りを用いて会話をしていました。

今回の派遣を通して、私が学んだことは「とにかく楽しく会話する」ということです。緊張して、一言一言話すよりも、感じたことや思ったことは素直に言葉にした方が相手にも伝わり、より深い考え方をすることができると思います。会話をすることを通してさまざまな考え方を学ぶことができました。この経験で学んだたくさんの考え方は、今後の人生のなかでもかけがえのない体験になると思います。

改めて、私を成長させてくれた今回の派遣事業という、素晴らしい機会を与えてくださった皆様、本当にありがとうございました。今後も水戸市とアナハイム市、両市の国際交流の一端を担っていけたら幸いです。

Since I was little I have wanted to work on the global stage as a pediatrician. That is why I participated in this program not only to improve my English skills but also to improve my body language skills to facilitate communication. At first, I was a little hesitant to talk to American people, but my host mother introduced me to many people, including neighbors, bakers and supermarket staff. By talking with them, I could learn various ways of thinking. I'd like to thank all the people who took part in this program that gave me wonderful memories.

Maho

アナハイムでの生活を通して　-Through life in Anaheim-

打越　愛玲
Aire UCHIKOSHI

今回のアナハイムへの派遣は、毎日がとても楽しく充実したものでした。私はアナハイムへ行く前に、水戸市学生親善大使に選んでくださったことに感謝しながら、毎日、人との関わりを大切にして生活し、日本とアメリカの文化の違いについて考えるという目標を立てました。

私はホストファミリーに親戚のホームパーティーなどへ連れて行ってもらった際、多くの人が集まっていてとても私に親切にしてくれました。私はそこで多くの友達を作ることができ、いろいろな話ができました。生活をしていく日々の中で、ホストファミリーを始め現地の人々の家族、友達、地域の人への思いやり、優しさを感じることができました。また、食べ物や体験することなど私にとって初めてのことが多くありました。ホストファミリーの家には親戚のメキシコから来た子たちが遊びに来ていました。その子たちはスペイン語が第一言語だったので英語が通じませんでした。しかし、仲良くなりたいと思い、言っていることを感じ取ったり、ホストファミリーを通じて会話していくうちに距離も近くなり、一緒にプールへ行ったり買い物に行ったりすることができました。とてもうれしかったです。実際にやってみると楽しく、新たな発見を得ることができました。そこから不安な気持ちを捨て、何事にもチャレンジすることの大切さを学びました。

アメリカでの 12 日間は、私の人生の中でとても刺激的で新しい発見がたくさんあり、自分の成長に繋がりました。これからは、今回得た経験を大切にし、今まで以上に勉学に励み、成長した自分でまたアナハイムを訪れたいです。

このような貴重な経験をさせてくださり本当にありがとうございました。

I am grateful to the people who have been involved with me in this program.
Thank you for the 12 days and I really enjoyed！
I am happy that I could have many experiences, all new to me.
There were many surprises and new discoveries in my life.
Also, I could feel the warm kindness and compassion of the Anaheim people.
I want to improve my English skill and come back again!
Thank you so much!

Aire

大切な出会いとコミュニケーション　-To build good relationships-

鯉沼　穣也
Joya KOINUMA

私にとって、今回のアナハイムへの 12 日間の留学は、毎日が驚きと興奮の連続でまるで映画のような日々でした。私は、このアナハイムで、人々の社交的な態度に感銘を受けました。人々は、初対面でも店員や町の人は、当たり前のように世間話などをするのです。日本では、絶対に見られない光景です。これは、「多民族社会」のアメリカと日本の社会の大きな価値観の違いから来ていると考えます。ほとんどの日本人は、基本的に身近で必要な人とだけ、人間関係を築きます。会話を交わすことなく、会釈などで挨拶は十分です。しかし、アメリカでは、敵意を持っていないことを示すため、たとえ浅い関係でも見知らぬ人と人間関係を築きます。このコミュニケーション能力は、東京オリンピックが開かれ、益々グローバル化していく日本には必要である力だと思いました。私は、このことを生かし、小さな出会いも大切にしたいと改めて思いました。

戦後、アメリカと日本の関係があまりよくないときに、それを改善しようと思った元アナハイム市長と元水戸市長が、お互いの子どもを交換留学させ、家族ぐるみで仲良くしたのが今の交換留学の始まりだと、Anthony さんは私に教えてくれました。私は今回、アナハイム市学生親善大使として私の家にホームステイしていた Vincent の家に滞在しました。Vincent はアメリカに帰国後、「自分も手伝うからホストファミリーになりたい」と両親を説得してくれたそうです。小さな出会いが更に派生して、「国際交流」の輪が広がったのです。まさに、心と心が繋がった「親善」だと実感しました。「市民レベルでの心の絆」これが水戸市とアナハイムの結びつきをさらに強くするものになれば光栄です。

最後に私にこのようなとても貴重な経験、出会いの機会を与えてくださった協会の皆さま、何もわからない私を支えて下さったアナハイムの方々、私を受入れて下さった Vincent の家族。そして、私の両親に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

Dear all of the people concerned in this program,
I am so grateful to have spent 12 days in Anaheim, California.
I enjoyed being able to meet and speak with such kind and welcoming people.
The most valuable lesson I learned is that it is very important to build good relationships with others.
I love Anaheim and will forever cherish every memory.
I look forward to visiting again in the future!

Joya

ありがとう　-Thank you-

野上　千穂
Chiho NOGAMI

アナハイム市を訪れる前、私はとても不安でした。自分のつたない英語で、ちゃんと意思疎通ができるとは思えなかったからです。

最初にホストファミリーと会った時、私は緊張であまりしゃべれませんでした。それでもホストファミリーは優しく、聞き返したら何回もゆっくり話しかけてくれたり、私の話をよく聞いて理解してくれたりしました。その時にこの優しいホストファミリーとなら私でも意思疎通を図って交流を深められると思えました。それから毎日少しずつ会話が増え、文化や習慣も学ぶことができました。

そして、私はアナハイム市の素晴らしいところをたくさん発見することができました。楽しい場所がたくさんあることはもちろんですが、出会った人全員が優しく積極的に話しかけてくれたこと、たくさんのおもてなしをしてくれたことが印象的でした。人とのつながりの大切さを学ぶことができました。

アナハイム市を訪れる前の私は、ホストファミリーとこんなに親しくなれて、こんなにたくさんの思い出が作れるなんて想像もしていませんでした。このプログラムに参加できたことは私の誇りです。優しくしてくれたホストファミリーやたくさんもてなしてくださったアナハイム市の方々、支えてくれたすべての方々に感謝しています。本当にありがとうございました。

Before visiting Anaheim, I had been worried about my English skill.
When I first met my host family, I was very nervous and couldn’t talk much.
But my host family spoke to me slowly and repeatedly, and tried to understand me.
And then I started to talk more day by day and could learn culture and customs from my host family.
Also, I was able to discover a lot of great things about Anaheim city.
I learned the importance of communication,
I never imagined that I could make so many memories in Anaheim city.
I’m very proud of being part of this program.
I love Mito and Anaheim. Thank you all the people I met in Anaheim.

Chiho

努力し続けること　– Keep making efforts -

野中　翠
Sui NONAKA

私は、親善大使に選ばれたことに対する誇り、高揚感と少しの緊張感を胸にアナハイムへ向かいました。過去に一度海外でのホームステイ経験のある私は、このプログラムで「思ったことを伝える」ことを目標にしました。一見簡単そうに聞こえるこの目標も、言語が変われば難しさも変わるものだと思います。ちょっとしたニュアンスの違いや、冗談交じりであったりするものをもとの言語のまま伝えられるようになりたいと思い、このプログラムに臨みました。とても楽しかった 12 日間の中で毎日新しい人と出会って、たくさん話して、どんどん英語で話すことが楽しくなっていきました。それでもはじめの頃は言いたいと思ったことをうまく表現することができずに慌てていたら、ホストファザーから「間違いなんて気にしなくていい。大切なのは挑戦することだ。」と教わりました。それから、失敗を恐れず、どんどん話しかけることができるようになっていました。最初は少しおぼつかなかった英語もいつの間にか思ったこと、考えたことをそのまま英語で伝えることができるようになっていました。休日にホストファミリーと出かけて、私が親善大使だと知らない人たちに話しかけられた時、自分が臆することなく返事をした時、どんどん自分が変わっていく気がしました。そしてそんな自分に話しかけてくれた人たち、アメリカ、アナハイムの人種、国風に惹かれていきました。これからも水戸市とアナハイム市をつなぐためにできることをしていきたいと思うようになりました。最後にこのような機会を頂けたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

Even now, when I am back from Anaheim, my motto “I’ll challenge everything I do” has not changed. During my 12 days in Anaheim, I felt I was really growing up day by day, with each day sunnier and sunnier. I had a lot of fun; meeting people everyday, talking a lot, and in English. When native people spoke to me and I responded without hesitation, I felt I was changing. And the people of Anaheim who talked to me attracted me by their friendly national characteristics. I want to do what I can to connect Mito City and Anaheim City.

Sometimes my future dreams change, but I will continue to do my best to become a diplomat. So, when I can speak English more fluently after hard working, I will return to Anaheim. I am grateful for the opportunity where I became more confident in my future goal.

I’m really thankful to everyone.

Sui

僕の国際交流　- My international communication -

花見　優太
Yuta HANAMI

全体を通して私の今回の国際交流は、できるだけ数多く人と触れ合おうと努めることができてとても良いものだったと思います。ホストファミリーや学生親善大使のメンバー以外でも、DTCC の職員や訪問先のお店や場所のスタッフさんたちといった人とも交流することができました。さらに、英語で会話したので、それぞれの交流が自分にとって充実したものでありました。特に、ホストファミリーは話すことが大好きで常に私に会話を求めていたので、疲れるくらい沢山話すことができました。交流することにおいては、何の不満も感じることなく、満ち足りています。

どんなに私が英語ができなくても、アナハイムの人は私がうまく話せるまで待っていてくれた上、文法や単語に誤りがあった場合には直してくれることもありました。出会った人はみんなとても親切で、常に私たちを支えてくれたことがとてもうれしいです。

この事業を通して、自分の周りには常に学べる機会があるのだと気づかされたので、この経験を生かして日本でも学び続けようと思います。

During this trip, my international communications went so good for me. That’s because I could try to talk with a lot of people actively. And in all conversations, I talked in English. So, each communication was very fulfilling for me. Especially, my host family liked talking and always asked me questions. So, I could talk a lot. It was good for me. No matter how difficult for me to speak English, people in Anaheim waited patiently for me to answer. And, if I made a mistake, they corrected it. They were very kind, I’m so happy.

In this program, I noticed there always are chances for me to learn. So, I’ll keep learning in Japan.

Yuta

アナハイム市の魅力　-The attractions of Anaheim city-

松浦　由芽
Yume MATSUURA

私は、この短い間で、今までの人生で一番貴重な経験をすることが出来たと思っています。アナハイム市での生活は、本当に楽しくてあっという間でした。アナハイム市は、自分が想像していた以上に魅力的な場所だと思いました。観光地だけではなく、人々にも大きな魅力があります。アナハイム市で出会った人々は、本当に親切で常に私たちを気にかけてくれていました。最初の数日間、私は自分の英語力への不安から、積極的に話せずにいました。そんな私に彼らは、私の英語を褒めてくれたり、夜になると、今日は楽しい日が過ごせたか、不安に思ったことはないかを連絡して聞いてくれる人もいました。彼らのおかげで、少しずつ積極的に英語を話せるようになり、自分の意見が言えた時の嬉しさや、自分の話で相手が笑ってくれた時に、英語の楽しさを知ることができました。そして、私のホストファミリーも彼らの中の１人です。緊張していた私を、笑顔とハグで受け入れてくれました。ホストブラザーは、時間があると、色々な場所へ連れて行ってくれました。そのおかげで私は、さらなるアナハイム市の魅力を知ることが出来ました。アナハイム市で得た経験は、私の人生に大きな刺激を与えてくれました。英語だけではなく、アメリカという国の人種の多様性、生活習慣を学ぶことが出来ました。私は今回、英語の重要性、面白さを知り、英語をより深く学びたいと思うようになりました。そして、もう一度アナハイム市に訪れ、お世話になった人に直接お礼を伝えたいと思っています。

最後に、このような経験をさせていただいたことに感謝しています。アナハイム市の方々、この事業に携わった方々、このような貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

In the 12 days I was able to have a lot of experiences. And I learned about the charm of the city, the importance of English, and much more. Anaheim city’s attractions lie not only in place, but also in people. The people in Anaheim gave me a helping hand whenever I was in trouble because I couldn’t speak English well. Thanks to them, I was able to get used to and enjoy life in Anaheim city. My host family is one of them who helped me a lot. They welcomed me with a smile and a hug. And my host brother took me to various places when he had time. He let me learn more about the city of Anaheim and America. The experience in Anaheim has given a great stimulus to my life. I was able to learn not only English but also the diversity and lifestyle in the country of Anaheim. From this experience, I learned the fun of English. I thought that I want to learn more in university. And I would like to go back to Anaheim city and give my thanks to the people who helped me. Thank you very much !

Yume

新しいステージへの第一歩　- My first step for next stage -

山崎　啓介
Keisuke YAMAZAKI

今回のアナハイム研修は、僕の人生の旅の中でも特に貴重な体験でした。僕の今回の研修での一番の収穫は、多文化社会を肌で感じたことです。街に出てみると、ヒスパニックの方々やアジア系の方々、アフリカ系の方々、ヨーロッパ系の方々など様々な国籍の方々が歩いていました。また、街頭ではメキシコやアジア諸国の料理、グッズが数多く売られていました。

そして、それらはこれまでの僕の異文化に対する意識を激変させました。僕は、国際人というのは、世界の共通語である英語をうまく話して世界で活躍する人だと思っていました。しかし、それは大きな間違いでした。多くの異なる文化を見て学び、理解する。それが本当の国際人であり、目指すものだと心に決めました。

今回の研修を企画してくださった姉妹都市委員の皆様には、僕に本当の国際人への第一歩を教えてくれたことに深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

This trip changed me. It changed my mind. Before going to Anaheim, I had thought that if someone could speak English well, he/she could communicate with people from around the world. However, I was mistaken. There were a lot more cultures in Anaheim than I had expected. There were many shops which sold not only American food but also Mexican food and Asian food, including Vietnamese. Furthermore, there were more kinds of people than I had expected. There were a lot of American, Mexican, Hispanic, Asian, African people. In fact my host family was Mexican, and they usually spoke Spanish in their life. I was really surprised at that.

Because of this experience, I want to learn more of anything. First, I want to learn Spanish. I want to speak Spanish with my host family and our English teacher, Jessica someday. I also want to be able to talk about Japan in Spanish. Second, I want to learn more about other cultures and countries around the world.

This trip made me think about the world. We have to be able to understand each other. It is important to know people in person, not through textbooks.

I would like to thank the organizers and supervisors for letting me participate in this trip. I will do my best to be able to represent Japan well and will be open to new experiences and adventures in my life.

Keisuke

感謝の言葉

令和元年度水戸市学生親善大使
公益財団法人水戸市国際交流協会

今回、私たち８名の水戸市学生親善大使を任命してくださった方々、そしてアナハイムでの活動を支援してくださったアナハイム市姉妹都市委員会、ダウンタウンコミュニティーセンターの皆様、そしてすべてにおいてサポートしてくださった水戸市国際交流協会の皆様に心から感謝申し上げます。普通では体験することができないことを体験させていただいた中で、たくさんの発見をしました。そして異文化交流を通じて自分たちの視野を広げ、新たな価値観を身につけることができました。この経験を忘れずに、それぞれの将来へ向かって頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

To
Sister City Commission of Anaheim
Dr. Anthony Al Jamie
Ms. Jackie Filbeck
Ms. Katie Filbeck
Ms. Jessica
Ms. Namie
Our host families,

We would like to express our sincere appreciation to the Sister City Commission of Anaheim, the Down Town Community Center and all the other people concerned for supporting our activities in Anaheim. We had a lot of discoveries while experiencing things that we normally couldn’t experience. Through these cross-cultual exchanges, we expanded our horizons and acquired new values. Without forgetting this experience, we will work hard for a better future for each of us.

～アナハイムの思い出　Memories in Anaheim～

1 食べ物 Food

2 場所 Place

3 楽しかったこと Fun experience

Keisuke YAMAZAKI

（あだ名：ブラックホール Nickname : Black hall）
→とにかく食べまくったから I eat a lot.

1　ホストファミリーの一押しのタコス
The tacos which host family recommended most.

2　ホストファミリーの家のリビング
Host family's living room.

3　ホストブラザーたちとゴーカートを運転したこと
Driving sports car with host brothers.

Yuta HANAMI

【衝撃的な出来事】Most shocking things
ドリアンを食べたこと！（orz）Eating Dorian!

1　スモア（みんなでビーチで作ったもの）
Smores (We made at the beach)

2　Anthony さんのお宅 (Anthony's house)

3　アナハイムでのアクティビティ全部！
Everything in Anaheim!

Aire UCHIKOSHI

1　ホストファミリー手作りのラザニア、タコス
Host family's handmade Lasagna, tacos

2　オレンジカウンティフェア　OC Fair

3　アナハイムの人たちとたくさん話せたこと
Talking with Anaheim people a lot

Sui NONAKA

1　イチゴのバースデーケーキ
Strawberry birthday cake

2　Disney Land

3　野球観戦　Watching baseball game

Joya KOINUMA

1　ディズニーのチュロス（アップル）
Churros (apple taste) in Disney Land

2　ホストファミリーや友達と行ったサーキット
Going to Circuit with host family and friends

3　ディズニーの夜のショー
Night show World of Color in California Adventure

Maho USUI

1　ホストマザーが作るアボカドトースト
Host mother’s handmade Avocado Toast

2　Disney Land

3　ホストブラザーとピザを作ったこと
Making pizza with host brother

Chiho NOGAMI

1　Hamburgers at IN-N-OUT Burger

2　Disney Land

3　野球観戦　Watching baseball game

Yume MATSUURA

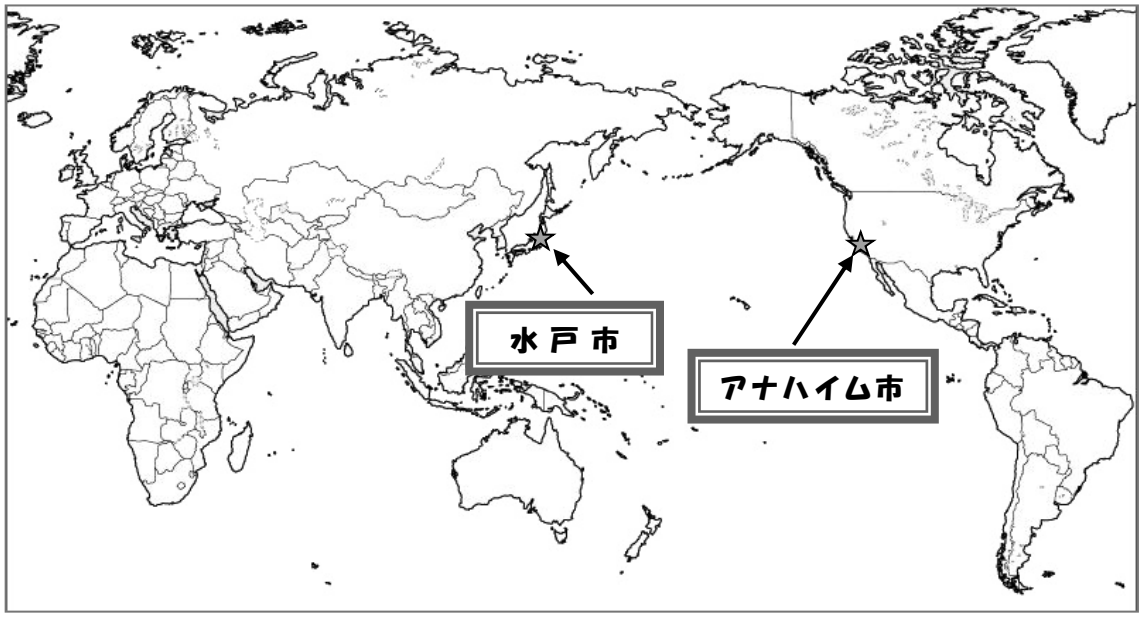
1　Hamburgers at IN-N-OUT Burger

2　Disney Land

3　ホストブラザーとの時間
Spending time with host brother

参考資料

～ Background information ～



- 募集要項　　（Guidelines for applicants）
- 相互訪問の軌跡、両市のプロフィール（People exchanges, city profiles）
- 事前研修の様子　　（Pre-visit training）

2019年度水戸市学生親善大使 募集要項

1　目的

市内の学生を水戸市の国際親善姉妹都市であるアナハイム市へ派遣し、海外でのホームステイを通して国際的な視野に立つ人材を育成するとともに、両市の相互理解と友好親善を深めます。

2　主催

公益財団法人水戸市国際交流協会、水戸市、水戸市教育委員会

3　事業概要

⑴ 派遣期間　2019年7月26日(金) ～8月6日(火) （12日間）

⑵ 派遣先　　アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アナハイム市
市民ボランティア(※)宅にホームステイ
（※ホストファミリーの経験が豊富であり、アナハイム市姉妹都市委員会が認める者）

⑶ 派遣人数　8名（この他、親善大使を引率する団長・協会職員が同行する。）

⑷ 親善大使としての活動内容

ア　アナハイム市での活動

(ｱ) アメリカ合衆国及びアナハイム市の歴史や文化等の研修
(ｲ) 英語研修
(ｳ) 関係機関、施設等の訪問・見学
(ｴ) 水戸市の紹介
(ｵ) ホームステイを通しての市民間交流
(ｶ) 姉妹都市交流の推進、市役所表敬訪問
(ｷ) その他

イ　事前活動

アナハイム市での活動を効果的に行うため、事前研修を行います。

ウ　事後活動

アナハイム市での活動内容を報告書にまとめるとともに、今後、公益財団法人水戸市国際交流協会及び水戸市の実施する国際交流推進事業に積極的に参加していただきます。

4　募集人数

8名　（中学生 3名　高校生 5名）　※応募の状況によっては変更する場合もあります。

5　応募資格

下記のすべての資格・条件を満たさない場合、申込みは受付けません。

応募に際して英検等の資格は必要ありません。

⑴ 平成31年4月1日現在、満13歳以上17歳まで(平成13年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた方）であること

⑵ 中学校、高等学校、高等専門学校などの学校教育法第一条に定める教育施設に在学中であること

⑶ 本人又は本人と生計を一にする家族が水戸市内に住んでいること(平成31年4月15日現在)

⑷ 協調性に富み、事業計画に従って規律ある団体行動及び生活ができること

⑸ 派遣前後に行われる研修等に参加し、派遣後も公益財団法人水戸市国際交流協会及び水戸市の国際交流推進事業に積極的に参加できる者

⑹ 過去に水戸市学生親善大使としてアナハイム市を訪問していないこと

6　応募方法

⑴ 提出書類　**※ア及びウは、応募者の自筆とする。ただし、アの承諾事項は保護者の自署とする。**

ア　参加申込書(様式第1号)　1通（裏面の承諾事項を含む）

イ　82円切手を貼った返信用封筒(長型3号)　1枚（本人のあて先を記入したもの。）

ウ　作文　【題名】「水戸市学生親善大使となって何を学びたいか」
【規格】　A4規定用紙を使用、横書800字以内　※学校名、学年、氏名を必ず記入すること

エ　本人と生計を一にする主たる納税者の運転免許証コピーおもて・うら両面（現住所確認のため）
※運転免許証が無い場合は、住民票のコピーを提出してください

⑵ 提出期間　2019年4月23日(火) ～5月16日(木)

⑶ 提出先　　公益財団法人水戸市国際交流協会　〒310-0024 水戸市備前町6-59　TEL 029-221-1800
水戸市国際交流センター内　(開館時間　午前9時～午後9時。月曜日、4月30日～5月7日は休館)

⑷ 提出方法　直接窓口または郵送すること。**※郵送の場合は必着**

７　選考及び決定

選考は、当協会の選考要項に基づき、選考委員会が行います。

⑴ 第1次選考　書類審査（選考の結果については、5月30日(木)までに本人の現住所へ送付します。）

⑵ 第2次選考　面接（簡単な英会話を含む）、集団討論

ア　期日　2019年6月2日(日)

イ　時間　午前9時～午後1時（予定）※応募人数によって時間が前後することがあります。
（時間の詳細については、第１次選考の合格者に郵送で通知）

ウ　場所　水戸市国際交流センター

選考の結果については、6月9日(日)までに本人の現住所へ送付します。（※選考の結果は各応募者あてに通知いたします。学校あてには通知いたしませんので、あらかじめご了承ください。）

８　スケジュール

6月 29日（土）　午後6時～8時	アナハイム市学生親善大使を囲んでのパーティー(予定)
7月　7日（日）　午後１時30分～５時	結団式 第1回事前研修（水戸市・アナハイム市の概要及び英会話等）
7月 14日（日）　午後1時30分～5時	第2回事前研修
7月 21日（日）　午後1時30分～5時	第3回事前研修
7月 26日（金）～ 8月6日（火）	アナハイム市へ派遣（ホームステイ）
8月 25日（日）　午後1時30分～5時	事後研修
９月～１１月	報告書作成

※場所：水戸市国際交流センター（アナハイム市派遣を除く）

９　費用

この事業に要する費用のうち、次に掲げる費用は、参加者の個人負担とします。

⑴ 水戸市～アナハイム市間の交通費等(※現地での活動費200USドルを含む)：約23万円（内5万円を協会より補助する）※燃油サーチャージ・ESTA取得料込み。※為替レートの状況により、現地活動費（日本円換算）が変動する場合があります。

⑵ 自由行動時の個人的な費用

⑶ 個人的な保険料

⑷ その他疾病又は傷害の治療費用

１０　親善大使の取消し

⑴ 親善大使として決定された後であっても、不適格と認められる行為又は事実があった場合には、資格を取消すことがあります。

⑵ 出発後の取消しは、団長が行います。この場合、親善大使を直ちに帰国させるものとし、帰国に要する費用は、本人の負担とします。

１１　旅行の取消し

申し込み後、事業への参加を取りやめたときは、旅行約款に基づく取消し料を負担していただきます。

１２　個人情報の取扱い

応募書類に含まれる個人情報については、当協会の個人情報保護規程に基づき厳重に管理し、親善大使選考及び選考に付随する業務のために利用します。

問合せ　公益財団法人水戸市国際交流協会
〒310-0024 水戸市備前町６－59
TEL：029-221-1800　　FAX：029-221-5793
E-mail：mcia@mito.ne.jp　　URL：http://www.mitoic.or.jp

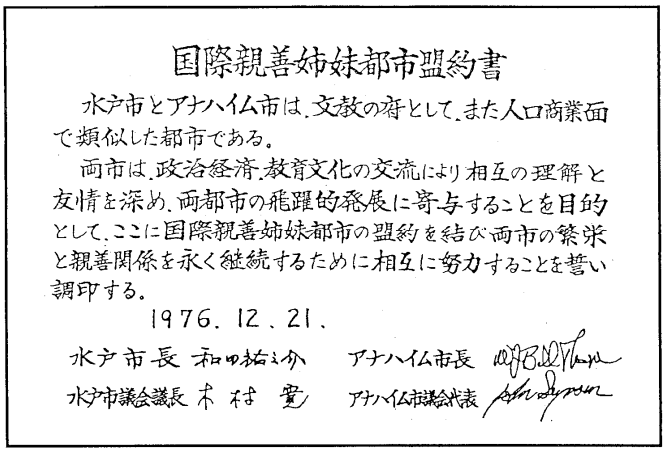
※本派遣事業は渡航者の安全確保を最優先させますので、今後の国際情勢によっては、応募後であっても中止する場合があります。ご承知おきください。

水戸市とアナハイム市の交流

水戸市とアナハイム市との交流は、昭和 49（1974）年アナハイム市在住の水戸出身の実業家が、恩師をアナハイム市に招待したことを契機として始まりました。その後の様々な人的交流が実を結び、アメリカ合衆国建国 200 年祭にあたる昭和 51（1976）年 12 月 21 日、両市は国際親善姉妹都市を締結しました。姉妹都市となった両市は、幾多の交流活動を重ね今日に至っています。

学生親善大使の往来について、水戸市からアナハイム市への派遣は、昭和 63（1988）年の第 1 回以来、今回の派遣を含め 29 回実施され、計 506 人がアナハイム市を訪問しました。アナハイム市からは、昭和 60（1985）年を第 1 回として、これまで 30 回派遣され、計 126 人が水戸市を訪問しました。

このほか、水戸市使節団のアナハイム市への派遣は、昭和 51（1976）年の姉妹都市調印式を第 1 回として 32 回行われ、のべ 939 人がアナハイム市を訪問しました。アナハイム市からの使節団は昭和 51（1976）年を第 1 回として、これまで 19 回派遣され、のべ 419 人が水戸市を訪れました。（令和元年 9 月 1 日現在）


国際親善姉妹都市盟約書

水戸市とアナハイム市は、文教の府として、また人口商業面で類似した都市である。

両市は、政治経済、教育文化の交流により相互の理解と友情を深め、両都市の飛躍的発展に寄与することを目的として、ここに国際親善姉妹都市の盟約を結び両市の繁栄と親善関係を永く継続するために相互に努力することを誓い調印する。

1976. 12. 21.

水戸市長 和田拓三郎　アナハイム市長

水戸市議会議長 木村 實　アナハイム市議会代表

ー両市のプロフィールー

	水戸市（Mito）	アナハイム市（Anaheim）
人口	269,718 人 （2019 年 9 月 1 日現在）	359,171 人 （2019 年現在）
面積	217.45 km^2	130.7 km^2
標高	最高 160.0 m 最低　0.1 m	最高 52 m（170 ft） 最低 37 m（120 ft）
緯度	北緯　36 度 21 分 57 秒	北緯　33 度 50 分 10 秒
経度	東経 140 度 28 分 17 秒	西経 117 度 53 分 23 秒
気候	平均気温：13 ℃ 年間降水量：1,326 mm 温暖湿潤気候	平均気温：21 ℃ 年間降水量：249 mm 地中海性気候
市の花	ハギ（Bush Clover）	キンセンカ（Calendula）
市の木	ウメ（Plum）	マグノリア（Magnolia）
市制施行	1889 年（明治 22 年）	1857 年

派遣前の様子（Photos before leaving for Anaheim）

結団式
Inauguration Ceremony

研修初日
1st Day of the Seminar

アナハイムについての勉強
Study about Anaheim

A Bit of Japan の練習
Preparation for “A Bit of Japan”

出発式
Departing Ceremony

出発式
Departing Ceremony

3 日間の研修
その間に大使としての心構えを高め、
アナハイムへと旅立ちました。

アナハイムへ出発
Leaving for Anaheim

編集後記

今回の海外研修では多くの成長を感じました。このような光栄な機会を下さったすべての関係者の方々に深く感謝申し上げます。

-編集委員長 山崎啓介-

私はアナハイムの生活で大きく成長することができました。派遣に関わってくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

-編集委員 打越愛玲-

アナハイムでの生活は新たな発見に満ちあふれていて、12 日間があっという間に過ぎてしまいました。この経験を今後の英語学習に生かしていきたいです。

-編集委員 薄井眞帆-

私がアナハイムで過ごした 12 日間は人生の中でも大変貴重な経験になりました。
このような経験をくださった全ての方々に感謝申し上げたいです。

-編集委員 鯉沼穣也-

Thank you for all the wonderful experiences. We had a very valuable time in Anaheim. These experiences will be reliable help for our future. We want to visit Anaheim and meet you again. We strongly hope to keep good relationship between Mito and Anaheim for many years to come.

ANAHEIM 2019

令和元年度水戸市学生親善大使派遣の記録

編集　令和元年度水戸市学生親善大使
発行　公益財団法人水戸市国際交流協会